



全校集会がありました！ 「ふだん」の力



6月2日(木)にzoomにて全校集会がありました。

校長先生のお話では、とある会社の社長さんからお聞きしたことを教えてくださいました。

その社長さんが、自分の会社にどんな人材を求めているかという、「ふだんから」挨拶や礼儀を大事にしている人だそうです。もちろん、面接官の前ではどの受験者もきちんと礼儀正しくするのですが、会社に入るときや会場までのときも、「ふとしたとき」に、その受験者がふだんから挨拶や礼儀を意識している人かどうかが大体分かるそうです。その場だけとりつくろっても、とっさのときには普段の自分が出るのだということです。

さて、なぜ、その社長さんが挨拶や礼儀を大切にしているかという、挨拶ができる人は、他人を受け入れる素直な心を持っている人だと考えておられるそうです。ですから、そのような人は、お客さんや社内の仲間とのコミュニケーションを取りながら仕事ができる人だと言えます。そういった周りの人を大切にできる人が社会では求められているのです。

しかし、その場だけ取りつくろっても、分かる人には分かるのです。本物になるためには、「ふだんから」の心がけが大切です。『継続は力なり』です。毎日の朝の挨拶や授業、部活動での礼儀など、日常の力を伸ばしていきましょう！

激励会がありました！ がんばれ、チーム南部！



6月9日(木)、zoomにて加賀地区大会と陸上県大会、吹奏楽部の中部日本吹奏楽コンクールの激励会がありました。

各部のキャプテンから大会に向けた力強い言葉や、大会に賭ける思い、先生方や仲間への感謝の言葉などがたくさん聞かれました。

早い部活動は今週末から大会があります。離れて戦っていても、心は一つ！「チーム南部」として、力を結集させて、ベストを尽くしてきてください！がんばれ、3年生！

緊急!!

交通安全に注意！

先週から市内で大きな事故があったり、本校でも接触事故があったりと、注意すべきことがたくさん起こっています。ヘルメットの着用、左右の確認、交通ルール・マナーの順守を徹底し、安全に登下校しましょう！

仲間を信じて、『目に見えない力』



現在、天然キャラが人気でタレントとして TV 番組などで活躍する丸山桂里奈さん。彼女は元々サッカー選手だったことをご存じの方も多いと思います。そんな丸山さんは日本代表として今から10年前の2011年のサッカー女子ワールドカップにまでしこジャパンの一員として出場しています。

丸山さんはスーパーサブとして、準々決勝のドイツ戦、延長後半から出場。澤選手からのパスを見事に決め、それが決勝ゴールとなり、チームを勝利に導きました。その勢いで日本はその後の試合も勝ち、見事、世界一に輝きました。

そんなチームを救う一撃を放ったことを、丸山さんはのちのインタビューでこんな風に語っています。

「私は岩淵（真奈選手）がボールを持った瞬間に走りだしていました。ずっと前を向いていたので、実は、澤さんからのパスだったことを知らなかったんですよ。もし澤さんが蹴るのを見てから走り出していたら、相手ディフェンダーに追いつかれてクリアされていたと思います。サッカーを始めた子供の頃は、『ボールを見ながら走りなさい』と教えられてきた。でも目では見えなくても信頼でつながるパスがある。」



「点を決める選手ばかりが注目されがちですが、決められるのはディフェンスの力があるからです。私のシュートの時も、安藤（梢選手）が前につめて相手との駆け引きをしてくれていたから、オフサイドにならずにすんだ。チームメイトのプレーが、私のプレーを支えてくれたんだと思います。」

決勝のアメリカ戦でも、二度のピハインドをひっくり返し勝利したなでしこジャパン。「あの時も、それこそ目に見えない力が働いた気がします。ドイツもアメリカも一度も勝てたことがない相手。それでも一人ひとりが勝てると信じて最後まで戦えば、絶対に夢はかなうんですね。」

丸山さんが語った『目に見えない力』。それは信頼と、そして仲間の支えだと思います。仲間を信じて走る。誰かのために動く。動いてくれたことに気づく。そして応える。そうしてチームのみんなの心が一つにまとまった時、みんなが誰かのために思って行動できた時、人間は自分では考えられない力が出るのかも知れません。

みなさんは一人ひとりが『目に見えない力』を生み出すことができる可能性を秘めています。今月行われるブロック大会は、これまで多くの苦楽を共にしてきた仲間と戦う大きな舞台です。南中の『目に見えない力』を結集させて、最後まで全員で戦いぬこう！